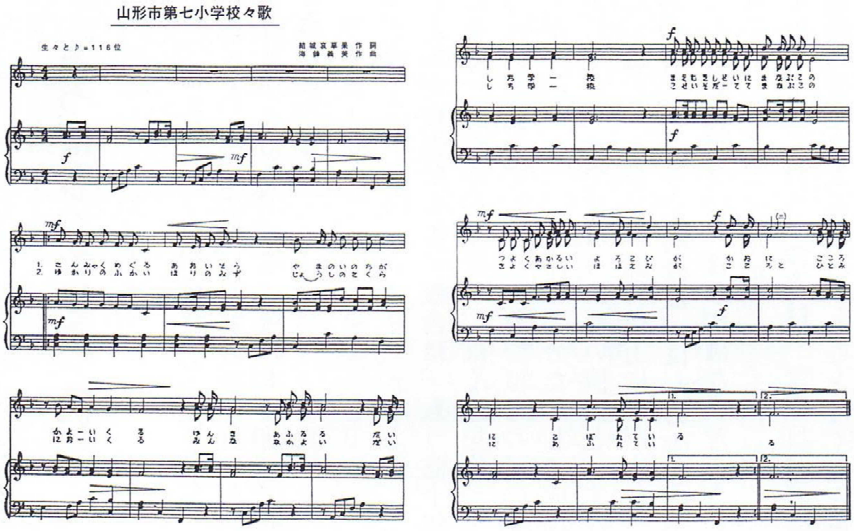
山形市立第七小学校　校歌

一、山脈めぐる　青いそら
高嶺の生命が　通いくる
元気あふるる　第七学校
前向しせいに　学ぶ学童の
強く明るい　よろこびが
顔にこころに　零れている

二、ゆかりの深い　ほりの水
城址のさくら　におい来る
みんな仲よい　第七学校
個性そだてて　学ぶ学童の
清くやさしい　ほほえみが
心とひとみに　溢れている

結城哀草果　作詞
海鋒　義美　作曲



ミツバチの校章

昭和八年三月、第七小学校は、第八尋常高等小学校という名で誕生しました。
そして、昭和九年五月に第八小学校とミツバチとあわせて、仲良く助け合って働く子どもに育つようにと、ミツバチの校章が決められました。

旧校歌

第八小学校校歌

飯島健雄校長　作詞
斉藤次郎　作曲

一、霞城のほとり空高く
毅然と立てり我が母校
古き調べの松韻と
黎明告ぐる時の音を
聞きつつ大地踏みしめて
勤め励まんもろ共に

二、高くも仰ぐ月山の
けだかき姿そのままに
馬見ヶ崎川　とこしえに
清き流れを汲みとりて
導きみこと胸にしめ
君と国とに盡くしなん

この曲は、第一代目の飯島校長先生が作詞された、第七小学校の古い校歌です。約三十年間歌われたのち、現在の新校歌ができました。
みつばちの子どもが、立派に成長するようにという願いは、いつも変わりません。
その願いのこもった私たちの学校の校歌を、心を込めて歌いましょう。